

## 令和7年度 第4学年

教科	前年度正答率（％） 【全国比（P）】	課題となる 観点	問題番号・出題のねらい ＜学習指導要領＞	前年度自校正答率 【全国比】	児童生徒の誤答の傾向と分析（○）、教育指導上の要因分析（●）	課題改善のための《指導場面（指導時期）》と具体的な取組	目標値	検証値	
国語	教科全体	61.3【-1.0】	思考・判断・表現	17・叙述を基に文章の内容を捉えている。＜3・4思判表0(1)イ＞	50.0% 【-19.9P】	○例として挙げている事例が、何を分かりやすくしたもののなかを理解することができていなかった。文章の内容を詳しく把握していないまま読み進め、前段落の冒頭の文章にある言葉が含まれた選択肢を選んでいると考えられる。  ●文章を読み、内容を大まかに把握させる指導が不十分であった。文中に出てきた言葉が何をさしているのか考えさせる指導が不十分であった。	《説明的な文章の指導（7月・11月）》 「目的や条件に応じて文章を自分の言葉で再構成する言語活動」を位置付けた単元により指導し、文や語が何をさしているのかを捉えるための視点を把握させる。  《読書（通年）》 説明文を読み、段落ごとに内容をまとめたり、自分の考えを書いたりする活動を継続して行う。	正答率 60%	％ 【P】
	知識・技能	63.2【-2.6】							
	思考・判断・表現	58.3【+1.0】							
	主体的に学習に取り組む態度	55.0【-3.1】							
社会	教科全体	【】	<>		○ ●	《（月）》	正答率 ％	％ 【P】	
	知識・技能	【】							
	思考・判断・表現	【】							
	主体的に学習に取り組む態度	【】							
算数／数学	教科全体	72.0【+1.1】	思考・判断・表現	18・○を用いて1つの式に表した3つの数の乗法について、場面に合う式を選んでいる。＜3年A(3)イ(ア)＞	16.7% 【-28.4P】	○○を用いた3つの数の乗法について、解答が分散しており、誤答の選択肢を選ぶ割合が高かった。場面に応じた式・○を用いた式の意味を正確に理解できていないと考えられる。  ●3つの数の乗法について、○でまとめている式が何を表しているのかを読み取る指導が不十分であった。	《式の意味を読み取る指導（通年）》 問題に出てきている式の意味を考えたり、場面に合う式を立て理由を説明する活動を継続して行う。また、同じ場面でも表し方が異なる式に触れ、それぞれについて式が表す意味を考え説明する活動を継続して行う。	正答率 50%	％ 【P】
	知識・技能	78.3【+2.3】							
	思考・判断・表現	54.2【-2.0】							
	主体的に学習に取り組む態度	63.2【-2.3】							
理科	教科全体	54.4【-8.3】	思考・判断・表現	18・車を指定された位置で止めるための方法を推測できる。＜3年A(2)イ＞	8.3% 【-31.4P】	○実験結果の表の意味を理解することができていない。また、送風機から出る風の強さはおなじであることが理解できていないこと、実験結果から送風機と「車う」、「車え」の関係を推測することが十分できていないことが考えられる。  ●実験前に予想や仮説をたてる指導が丁寧にできていなかった。また、実験をして結果をまとめる活動にとどまってしまう、実験結果をもとに、車を指定された位置で止める方法を推測する指導が不十分であった。	《実験や観察を伴う学習の指導（通年）》 実験のときには、予想や仮説をたせさせてから実験を行う。実験や観察をした後、別の事象について結果をもとにして推測する学習を行う。また、そのように推測した根拠を説明させて、推測するときに注目すべき視点を把握させる学習活動を行う。	正答率 35%	％ 【P】
	知識・技能	61.3【-9.0】							
	思考・判断・表現	48.4【-7.8】							
	主体的に学習に取り組む態度	50.0【-7.5】							
英語	教科全体	【】	<>		○ ●	《（月）》	正答率 ％	％ 【P】	
	知識・技能	【】							
	思考・判断・表現	【】							
	主体的に学習に取り組む態度	【】							